

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2003.09.10

参加者 松本（国府小） 福井（伊島小）

なんと2人例会でした。新記録です。ははは…。

運動会のシーズンたけなわ、残暑厳しい中どうすれば効率よく練習をすることができるか。まず教師がその時間に何をどこまでやるのか明確に目標を持つ。そして、そのことが子供達に理解できるようにする。目標に達したら時間が残っていてもきっぱりやめる。これにより子供達の意欲と集中力が増す…。そんな話から職員会議の効率化、運動会の種目について…等、よもやま話で楽しく終わってしまいました。

【アイスモールド】 福井

球形の氷を作るための道具。円柱形の金属型を上下2つに重ねただけの簡単な構造です。この金属型には上下とも半球状のくぼみがあり、ここに氷を入れると上の金属型の重みでプレスされて完全な球形の氷ができます。熱伝導率の高い金属を使用しているからなのでしょう、ズブズブズと、みるみるうちに氷が溶けていきます。色は真鍮のようですが、材質は不明です。メーカーは大信製作所。値段は8800円です。



【SF（サイエンスフィールド）科学教室】 福井

石浦先生がリハビリに専念されている間の代役として科学教室をやらせていただいています。参加する子ども達も保護者の方も石浦先生のご容体をたいへん心配されていて、これまで石浦先生がなされてきたことが多くの人々の心の中で確実に形作られていることが感じとれました。



【8月の科学教室『ドライアイスで遊ぼう』】 参加者8名

ドライアイスは二酸化炭素（炭酸ガス： CO_2 ）の個体です。常温では昇華してどんどん気体になります。この性質を利用してガス鉄砲や時限爆弾ゲームをやりました。また、空気より重いという二酸化炭素の性質を利用してシャボン玉を空中に浮かせたり -78.9°C の超低温を利用して花を凍らせたりシャーベットを作ったりしました。



【9月の科学教室『OOOOころりん』】 参加者16名

『OOOOころりん』という実験は、1mの坂道を使って2つの物、たとえば缶ジュースとシーチキン缶を転がし、どちらが早く転がり落ちるかという実験です。缶の重さや直径、接地面の長さなどに目をつけて予想をたて実験で確かめます。何度か実験を繰り返す中で、自分なりの仮説を立て科学的に考えることを目的としました。『ぴこぴこカプセル』という工作は、薬のカプセルに鉄球を入れて転がす工作で、何だか虫が這うような不思議な動き方をするおもちゃです。



終わり頃に石浦先生から電話を頂きました。リハビリが順調に進んでおり、ベッドから車椅子へと移ったり、車に乗せてもらってサイエンスフィールドの様子を見に来たりできるようになられたようで、保護者のみなさんと、ほっと一安心いたしました。